

# 経営比較分析表

長崎県 大村市

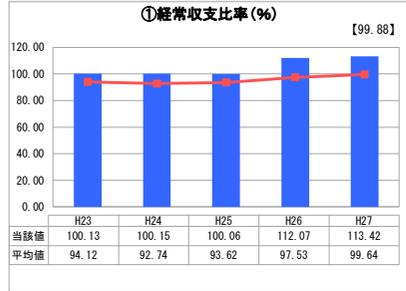
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	54.70	7.10	85.15	3,056

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
94,760	126.62	748.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,717	2.34	2,870.51

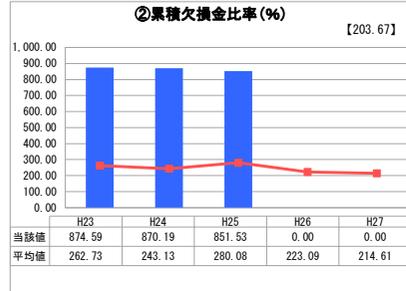
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

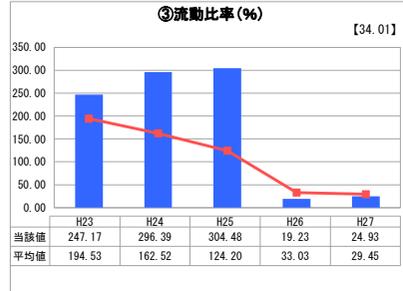
## 1. 経営の健全性・効率性



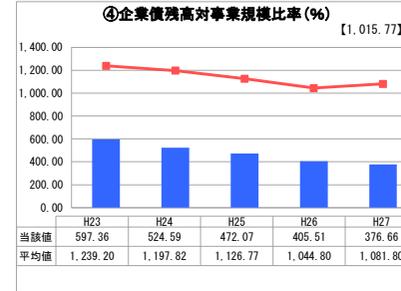
「経常損益」



「累積欠損」



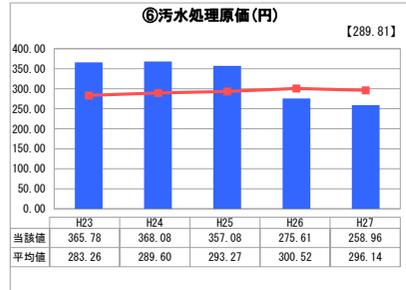
「支払能力」



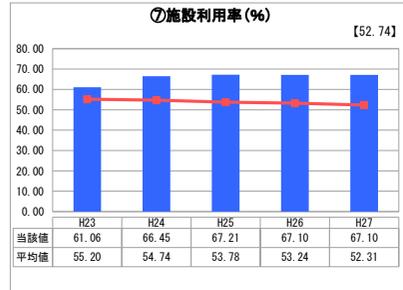
「債務残高」



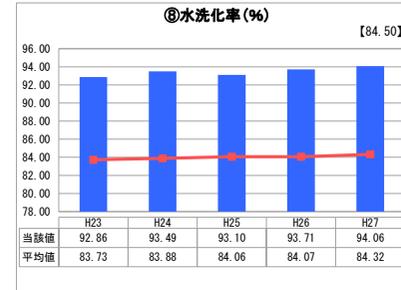
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

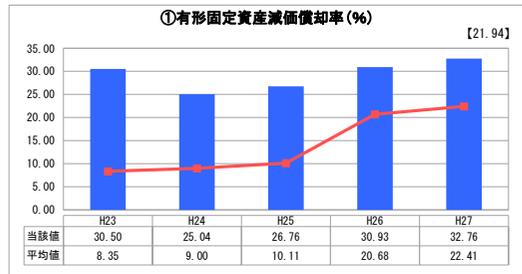


「施設の効率性」

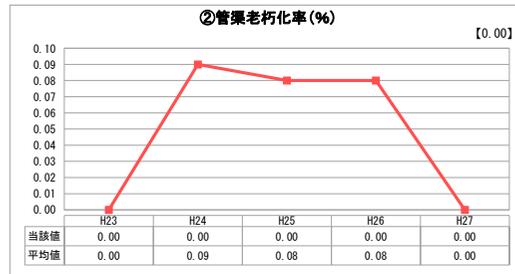


「使用料対象の捕捉」

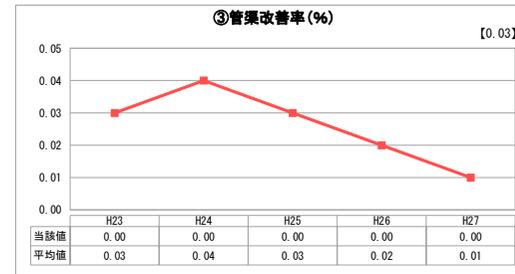
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率  
類似団体と比較するとわずかに上回り、100%を超えています。これは一般会計からの繰入れにより維持できている状況です。
- 企業債残高対事業規模比率  
類似団体と比較すると良好な数値ではありますが、残高は事業規模の4倍近くを超えており、今後も減少させていく必要があります。
- 経費回収率  
類似団体と比較すると高くなっていますが、これは汚水処理原価が類似団体より低くなっているためです。
- 水洗化率  
類似団体と比較すると高くなっていますが、これは大村市の施設整備がすでに完了していることによるものですが、水洗化率は高止まりしているため、今後の汚水処理量の大幅な増加は見込めない状況です。

### 2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率  
類似団体を上回っていますが、これは類似団体より早期に施設の整備が終わっているためです。今後は施設の延命化を図るとともに、施設の更新に備える必要があります。

### 全体総括

大村市の農業集落排水事業は、類似団体と比較すると、健全な経営に見えますが、使用料を下水道使用料と統一していることもあり、基準外を含めた一般会計からの繰入金により事業運営を維持していることによるものです。基準外繰入金を除くと非常に厳しい経営状況です。平成28年度に策定を予定している経営戦略に基づき、適正な業務運営、維持管理に努めていく必要があります。

施設整備はすでに完了しているため、今後は適正な業務運営や維持管理に努め、老朽化施設の更新に備える必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。